

# 平成27年度 株式会社ジェイコム九州 福岡局 放送番組審議会 議事録

日時 平成28年3月4日(金) 16:00~18:00  
 場所 J:COM福岡 3階役員会議室  
 出席者 委嘱委員7名出席 (全8名中)  
 番審委員 : (会長)石井幸孝  
 (委員)四宮祐司、松原弘美、吉野嘉高、佐伯道郎、中村絵理子、元尾祐子【順不同 敬称略】  
 (ジェイコム九州)代表取締役社長 徳田瑞穂、取締役 松本友行、福岡局局長 福島功、平野哉枝  
 (西日本メディアセンター)センター長 仲川圭、篠原有、石塚淳、香月敬一

## 番組審議会議事公開

徳田社長より	前回の開催時から期間が空いてしまいましたが、よりパワーアップした番組内容になっていると思います。 厳しい愛あるコメントを下さいますようお願い致します。
報告事項	下記、新任委員の方が加わりました。 ・公益財団法人 福岡市スポーツ協会 副会長 四宮祐司 様 ・筑紫女学園大学 現代社会学部現代社会学科 教授 吉野嘉高 様 ・アビスパ福岡株式会社 スクール推進部 部長 佐伯道郎 様
審議内容	
審議対象作品	デイリーニュース
番組紹介	月曜から金曜まで新鮮情報を毎日生放送する地元情報番組。皆さんのが「知りたい・知らせたい」身近な出来事や話題、防災・防犯・行政などの地域情報をタイムリーにお届けする、地域トピックス満載の「ど・ローカル生番組」です。土日に一週間分のトピックスをダイジェスト放送しています。
審議内容	<p><b>委員)</b>          ・土日のダイジェストが見やすい。インタビューされた方のたくさん笑顔が伝わって良い。</p> <p><b>委員)</b>          ・番組の雰囲気がユルく感じる。司会者は私服であったとしても、トーンを合わせるなど工夫をすることによって番組が締まる。          ・ターゲット層が曖昧だと、ただ単に情報の垂れ流しになってしまふ。ターゲット層を絞っては如何か。          ・再放送は、生放送したままのものを放送しているため違和感がある。再放送だと分かるサイン等を入れて欲しい。          →J:COM) 再放送番組冒頭に再放送である旨テロップを1回入れているが、VTR明けなどに入れるなど要検討。</p> <p><b>委員)</b>          ・入ってきた情報を全て入れようとして、八方美人的になっているため、ターゲットを絞って内容を決めたほうが良いのでは。          ・毎回必ず放送する情報を入れると良いのでは。警察、消防の情報を必ず入れて欲しい。          ・MCのファッションがカジュアル過ぎる。改まった服装の人とカジュアルな服装の方では視聴する側の受け止め方が違う。</p> <p><b>委員)</b>          ・番組内のどこかの時間帯を子供をターゲットにすることにより、父母に限らず祖父母まで視聴機会が増えて良いのではないか。</p> <p><b>委員)</b>          ・ドローカルが可視化されていて、地上波にはないコンテンツだと思う。          ・交通事故ゼロのニュースなどは地上波でもやっている。ジェイコムならではの別の切り口で取り上げたほうが良いのでは。          ・取材、編集がパターン化し過ぎている。現場に行く→雑観撮る→広い画を撮る→グループショット撮る→主催者のインタビュー撮る→参加した人のインタビュー撮るなど、パターン化。視聴者目線になる必要がある。主催者のインタビューが必ず要る訳ではなく、ペン取材で良い場合もあるし、イベントの目的、参加人数などはナレーションでも良い。視聴者が何を視たいかというと、例えば歌の祭典だと視聴者は参加者のカラオケを聞きたいのに、このニュースではカラオケを聞かせる部分が多く、ナレーションで塗り絵をしている。そうではなくリードの後、ナレーションに行く前に視聴者が見たいカラオケを歌っているところを見せ、ナレーションの中に主催者の話を落とし込んでいれば、主催者のインタビューは要らなくなることもある。構成を変えることによりもっとレベルは高くなるのではないか。          ・自分が住んでいる区と違う区の放送内容だと他人事に聞こえてしまうことを、どうやって興味深く視聴してもらうかが課題。          →ただ単にあったことを見せるのではなく、時間軸(対象物の時代背景など)と空間軸(他地域や他国など)をずらして、プラスαの情報を入れることにより、ニュースに普遍性が出て、他区の情報でも見てもらうことが出来る。</p> <p>・インタビューに頼りすぎている。「面白かった」の連発。面白かったの言葉ではなく面白がっている表情や面白いから思わず漏らした一言などを撮れば良い。インタビューを撮る前に現場でその瞬間に何が起こっているかを撮ることが重要。</p> <p>・重要な情報から出していくと言うのがニュースの基本。リードがあって、その後主催者のインタビューなどあり得ない。イベントをやっている内容が視聴者が一番見たい重要な情報。パターン化してはいけないがニュースの文法は守っていく必要がある。</p>

	<p><b>委員)</b>            ・取材したイベントの参加者が、その取材した放送内容をどれくらい見ているかというのは分かるのか。            →J:COM) 視聴した人数は分かりません。            ・参加した人から見てもらうこと、そこから広げていくと言うのが重要。            ・公民館のイベントは参加者イコール作り手なので、他の公民館でやっている情報などはすごく重要。他の校区のイベント情報をみて自分たちの校区の参考にすることができる、口コミなどでどんどん番組のことが広がってゆく。            ・公民館の方からどんどん取材依頼が入ってきますか。            →J:COM) 取材依頼は一度取材した先から多く、新たな広がりに結びついていない。取材先を広げていくことがこれから課題。公民館には、取材依頼案内チラシを随時配布している。            ・公民館長の集まりや自治協議会の総会などに出向いて働きかけると良いのではないか。</p>
その他提案等	<p><b>委員)</b>            ・取材に行った際、座っている席がガラガラなのが見える寂しい。地域プロデューサーなどジェイコムの方が集客を誘致したり、TVで事前告知することが望ましい。</p> <p><b>委員)</b>            ・番組「出てみて見てみて」では、団体紹介や演奏曲のうんちくをテロップで出すと、最後まで視聴し続けてくれると思う。            ・予定新番組「思い出の小学校」で、同窓会の告知なども流して欲しい。            ・予定新番組「福岡人図鑑」はゲストによってインタビューをフレキシブルに替えたらどうか。            ゲストが大きな会社社長の場合、インタビューは「そうですか」の連発になってしまふ恐れがある。ジェイコムの社長がインタビューすると良いのでは。</p> <p><b>会長)</b>            ・①チャンネルを良いものにしようという意見、②チャンネルを11chに合わせて番組を視聴してくれるための戦略、③ジェイコムと地域の双方に有益となる政策 という3つの視点がある。そのうち②について、NHKや民放にないこだわりを持つこと、ジェイコムを視たら良いことがあるなどのセールスポイントを見出す必要がある。            →J:COM) ジェイコムならではの切り口をみせる、質と量が足りておらず、情報がどんどん集まる仕組みを構築する必要がある。</p> <p><b>委員)</b>            ・SNSとのつながりはありますか。            →J:COM(徳田) 全国版はあるが、ジェイコム福岡でのSNSはない。今後検討致します。</p> <p><b>会長)</b>            ・TVの放送だけで勝負するのではなく、FacebookやLINEなどのITツールを使ってジェイコムのセールスポイントをアピールし、「ジェイコムって面白いよ」という評判づくりを行うと良いのでは。</p> <p><b>委員)</b>            ・スマホでコミチャンは見れますか。            →J:COM) ご加入の方は、ご視聴可能です。</p> <p><b>会長)</b>            ・大学生のダンス&amp;ミュージックやユニドルなども盛ん。            ・出たがりの人をどんどん映していくことが地域づくりの手伝いになるのではないか。            →J:COM) ジェイコムが一方的に作ったものではなく、視聴者の方と一緒に番組を作っていくことが出来れば、もっとチャンネルは広がっていき、民放との差別化につながると思う。</p> <p>・子供会の活動もスポットを当てて欲しい。            ・バスケットのライジング福岡の中継や他のプロスポーツにもスポットを当てて欲しい。            ・高齢者のために、日本語字幕が欲しい。            →J:COM) 全てに字幕を入れるのは難しい。</p> <p><b>委員)</b>            ・アビスパ福岡も社会貢献活動を行っているため、是非取材に来て欲しい。</p> <p><b>委員)</b>            ・ドローカルを一番欲しがっているのは外国人だと思う。スマホなどで世界に向けて発信できる番組にして欲しい。            →J:COM) スマホでは加入の方しか見れないのが課題</p>
福島局長より	<p>テレビを見ない時代にどうやって見て頂くかというのがジェイコムの課題であります。            福岡において、ジェイコムのご加入者に限らずJ:COMチャンネルを視聴する環境は整っておりますので、一人でも多くの方に見て頂きながら、チャンネルを通じて地域を活性化できるような仕事をさせて頂ければ思っております。            28年度方針についても、盛りだくさんの内容となっておりますので、息切れしないようにチャレンジして、次回また良いご意見を頂けるように発展した番組制作を行い。福岡の方々に喜んで頂けるような企業になれるよう頑張って参ります。</p>